

平成23年度の本校における学力調査の結果の公表について

「福岡県における学力・学習状況調査」について

文部科学省主催による全国学力・学習状況調査が平成23年度9月27日に3年生対象に国語と数学で実施されました。また、A「知識・技能等の基礎学力の定着度」、B「知識・技能等の基礎学力を活用した能力」に分類した問題形式での学力調査となっています。

国語科

主として「知識」に関するA問題、「活用」に関するB問題について

- 調査があった国語A Bはすべての領域で県の正答率を「やや上回っていた」が、国語Aでは、適切な言葉を選択したり、文脈の中から適切な意味を選択する設問の正答率が「努力を要する」で低かった。
- 国語Bでは、理由とともに文を書くという設問の正答率が「努力を要する」で低かった。

- 国語を詳しく見ると
 - ・ これらのことから、今後は、文脈の中で適切な言葉が使えるようにならないと考へた、そのためには読書の質を高めることに取り組んでいき、語彙を増やすことにつなげたい。
 - ・ 条件を正しく読み取り、達意の文章が書けるように取り組んでいきたい。

数学科

主として「知識」に関するA問題、「活用」に関するB問題について

- 数学A（主として「知識」に関する問題）は、全国と比べて「やや上回っている」という結果が出ました。
- 数学B（主として「活用」に関する問題）は、全国と比べて「同程度である」という結果が出ました。
- 数学を詳しく見てみると
 - ・ 計算式ができている生徒が多いことがわかります。
 - ・ 表やグラフから読み取ること、図形領域について面積や角度を求める力に課題があることがわかりました。
- そこで、本校の課題を踏まえ
 - ・ 図形領域において、問題の正しい把握をさせるため、問題文をよく読むという時間を十分確保します。
 - ・ 表の見方やグラフを自分で書いて状況をつかむという活動を図っていきます。